

「文法3」文の組み立てと意味1 主語・述語

修飾・被修飾の関係

復習しよう

◎次の（ ）にあてはまる言葉を一文節で答えましょう。

（ ） 走る。

ちよつと考えよう

「復習しよう」（ ）に入る言葉を分類してみましょう。どういう分類のし方が考えられるでしょう。他の人の入れた言葉と比べて、どんな分類の仕方があるか、話し合ってみましょう。

主語・述語の関係

「走る」という動作を「だれが」するのか。「僕が・わたしが・先生が」など、いろいろ答えが考えられます。このように、文中で「だれが」に当たる文節を、**主語**と言います。主語になる文節には、主に「が」という語が付きますが、「も、は、こそだつて」が付くこともあります。

○ 僕も 走る。

○ わたしは 走る。

○ 先生だつて、走る。

また、「走る」のように文の中で「どうする」を表す文節を**述語**といいます。述語は文の最後にきますが、これは日本語の特色の一つといわれています。英語ではどうなるでしょう。

文の終りにくる述語には「どうする」以外のものもあります。次の各文の述語は、どういう意味を表しているでしょう。後から選んで（ ）に意味を書きましょう。

(1) 兄は 高校生だ。

(2) 空が 真っ赤だ。

(3) 消しゴムが ある。

どうする なんだ 何だ ある いる ない

修飾・被修飾の関係

「復習しよう」の（ ）に「トラックを」や、「全速力で」「ゆっくり」などの文節をいれた人はいませんか。これらの文節は、「走る」という動作に対して、「どこを」「何で」「どのように」という意味をいい添える働きをしています。このような働きをする文節を**修飾語**といいます。また、修飾する文節と修飾される文節の関係を**修飾・被修飾の関係**といいます。

次の各文の修飾語はどんな意味を表しているでしょう。
後から選んで（ ）に意味を書きましょう。

(4) きのう 読んだ。

(5) ていねいに 書いた。

(6) 大きな 荷物だ。

どのように どんな いつ どこで 何を

練習しよう

1 次の文の——線を付けた述語にかかる主語に——を付けましょう。

(1) 鳥が 逃げる。

(2) コアラは オーストラリアに いる。

(3) 彼こそ キャプテンだ。

(4) あいつも きつと 元気だろう。

(5) 僕だって りっぱな レギュラーだ。

2 次の文で、主語・述語の関係さがし、例にならつてそれぞれの主語に——線、述語に——線を付けましょう。

例 僕は 窓を 開けた。

(1) 北海道は とても 広い。

(2) 太郎は 参考書を 買った。

(3) 本屋で 参考書を 買った。

(4) 「よし子さんは いますか。」

「いません。さっき 母と 出かけました。」

ワンポイントアドバイス

★「友達と 行く。」の「友達と」は主語？修飾語

この文の場合、「行く」が述語なのはわかりますね。では、「行く」という動作の「主人公」はだれでしょう。文の中にはありませんが、「僕は、わたしは」などが考えられます。「友達と」は動作の相手を表す修飾語になります。この文のように主語が省略されている文もあります。「が」以外に「は、も、こそ、だって」がついて主語になる場合もあります。

3 次の~~~~線の修飾語は、
表しているのでしょうか。

の中のどの意味を

4 次の文で、修飾語に~~~~線を付けましょう。

(1) 彼は 昼には 着く。

() ()

(2) 海が たいへん 美しい。

() ()

(3) 手紙を 母に 書く。

() ()

(4) 選手は 駅まで 走る。

() ()

(5) 少年は 木を 切る。

() ()

(6) 私は 父と けんかした。

() ()

(7) 星が きらきら 光る。

() ()

何を だれに だれと どのくらい どのように
どこまで いつ

(1) 波が 白く くだける。

(2) 僕は けっして 泣かない。

(3) 昨日 子犬が 生まれた。

(4) 岩石は まるで 鉄のようだ。

(5) たばこは 体に 悪い。

(6) 明日は たぶん 雨だ。

(7) 屋根が 遠くに 見える。

(8) 彼こそ 級長に ふさわしい。

発展問題

1 次の文の——線を付けた文節に、主語なら「主」、修飾語なら「修」を（ ）に書きましょう。

ヒント

述語から考えてみよう。

() () ()

(1) 空に にじが かかる。

() () ()

(2) 父は 母に 相談した。

() () ()

(3) 少し 空が 暗い。

2 次の文の修飾語に~~~~線を付け、例にならって修飾語がどの文節を修飾しているのか示しましょう。

例 火が めらめらと 燃える。

(1) 子ネコは やさしく 言いました。

(2) 昨日 友達が 来た。

ワンポイントアドバイス

★二つの修飾語が一つの述語に係ることもあります。

例 僕は 大きく 手を ふった。

(3) 僕は 半田で バットを 買った。

(4) 夜、 雨が 激しく 降った。

3 次の主語と述語の関係は、次のどれにあたりますか。

ア 何が どうする。 イ 何が どんなんだ。
ウ 何が 何だ。 エ 何が ある(いる・ない)

(1) お金が たくさん ある。 ()

(2) つばめが 空を 飛ぶ。 ()

(3) 部屋が 明るい。 ()

(4) 兄は 高校生だ。 ()